

## アイヌ政策推進交付金事業計画

1 事業名	むかわ町アイヌ政策推進事業
2 事業の種類	文化振興活動 ・ <b>地域・産業振興事業</b> ・ コミュニティ活動支援事業
3 事業の目的	アイヌ文化等の次世代への承継を確実なものとするとともに、地域に存するアイヌ文化等を発信し、地域内外におけるアイヌ関連の交流活動を活発化させ、魅力ある地域社会の形成を目標とする。
4 事業の概要	<p>(1)文化振興事業</p> <p>(2)地域・産業振興事業</p> <p style="padding-left: 2em;">■アイヌラッピングバス事業</p> <p>○事業実施主体 むかわ町</p> <p>○事業の実施場所 むかわ町</p> <p>○事業の実施期間 交付決定の日～令和5年3月</p> <p>○事業の内容と考え方 生活館(地域住民交流の場)を拠点にアイヌ文様をラッピングしたバスを運行し、アイヌの人々の利便性の確保及び向上を図るとともに、町内外の方に広くアイヌ文化の振興及び普及啓発を図る。</p> <p>(3)コミュニティ活動支援事業</p>
5 アイヌ施策推進地域計画における記載	<p>4-1 アイヌ文化の保存又は継承に資する事業</p> <p>4-2 アイヌの伝統等に関する理解の促進に資する事業</p> <p>4-3 観光の振興その他の産業の振興に資する事業</p> <p style="padding-left: 2em;">■アイヌラッピングバス事業 …町内の地域住民交流の場である生活館を拠点にアイヌの人々の利便性を確保及び継続するために老朽化したバスを更新し、バス運行事業を実施する。</p> <p>4-4 地域内若しくは地域間の交流又は国際交流に資する事業</p>

6 事業の成果目標等	
(1)成果目標の達成に向けた工程	(1)文化振興事業  (2)地域・産業振興事業 ①アイヌラッピングバス事業 アイヌの人々の利便性と生活の質を高めることによって、アイヌの人々が誇りをもって生活することができ、その誇りが尊重される社会の実現を図る事業であり、アイヌ文様ラッピングバスの利用者数が増加すると考えられる。 (3)コミュニティ活動支援事業
(2)成果目標、(中間)目標年度(成果目標に対する現状値、及び成果目標の達成見込みについて記載すること)	(1)文化振興事業  (2)地域・産業振興事業 ①アイヌラッピングバス事業 (現状値) 0人/年間 (中間目標値) 0人/年間 (最終目標値) 18,000人/年間 (3)コミュニティ活動支援事業
(3)成果目標の確認方法	KPIであるアイヌラッピングバス事業利用者数について、実績値を公表する。
7 地域の概要	
(1)地域におけるアイヌ文化等の現状及び課題	<p>むかわ町においては、「井戸戸＝イモツベ(魚を釣る餌)現在の地名;宮戸(みやと)」、「鱒＝チン(熊皮を乾す処)現在の地名;汐見(しおみ)」などアイヌ語由来の地名が多く残されているとともに、安政4年(1857年)箱館奉行堀織部正に従属して一帯調査した玉虫左太夫の「入北記」において、鶴川川筋にコタンが下ムカワ(鶴川地区)10コタン52戸275人、上ムカワ(穂別地区)に11コタン81戸440人のアイヌの人々が生活を営んでいた記録と、安政5年(1858年)北海道の名付け親であり、むかわ町に三度訪れた松浦武四郎の「戊午東西蝦夷山川地理取調日誌」には、現在の一級河川「鶴川」とその支流・山系・コタンの人々の暮らし・踏査の日時などが記述され、歴史的にアイヌ文化やアイヌの方々との関わりが深い地域である。</p> <p>むかわ町のアイヌ協会は、昭和49年4月に設立した社団法人北海道アイヌ協会鶴川支部と昭和51年1月設立の穂別支部が、平成19年4月に合併し、むかわ支部となる。平成26年4月に公益法人化移行によりむかわアイヌ協会へと名称を変更。アイヌ協会は、これまでアイヌ文化の復興や伝承を図るとともに、事務局が所在するム・ペツ館を拠点としてアイヌの民族の伝統的儀礼を開催するなど、アイヌ文化等の発信を行ってきた。</p> <p>アイヌ文化伝承では、鶴川アイヌ文化伝承保存会を昭和55年に設立、昭和61年から継続してきたカムイノミが、平成6年に国の重要無形民俗文化保存団体に指定、現在もアイヌ古式舞踊を町内外で披露し伝承と文化交流を拡げている。</p> <p>また、ム・ペツ館の展示コーナーには、アイヌ関連資料の民具や毎年町民向けに行っているアイヌ文化教室(アイヌ文様刺繍講座など)で制作した多くの作品が展示されており、アイヌの歴史や文化を学ぶ機会の充実が図られており、町民の関心が一層高まりつつある。</p> <p>しかしながら、むかわアイヌ協会の中心的な活動拠点施設である汐見生活館の老朽化が著しく、日常的な利用にも支障を来している状況で、地域の新設要望も多く、加えて、今後増加すると考えられる高齢化による免許返納から地域の人々の交通アクセスの確保が課題となっている。</p> <p>近年、アイヌ関連団体会員の高齢化や経済的理由により文化伝承活動に専念することができないなど、アイヌ文化等の担い手が不足しており、次世代への円滑な継承が必要なことから、町民にアイヌ民族の歴史や文化等に触れる機会を設けることにより、共生社会の実現が図れるものと考えている。</p>

(2)施設等の管理 運営体制	
(3)アイヌ関係団 体及び地域住民 の協力体制	むかわ町アイヌ協会、宮戸地区自治会及び汐見地区自治会とは定期的に意見交換を行っている。

## 8 収支予算

## (1) 収入の部

(単位:円)

区 分	本年度予算額 (本年度精算額)	前年度予算額 (本年度予算額)	比較増減	
			増	減
国庫補助金	16,616,000	80,000	16,536,000	0
市町村負担額	4,154,000	20,000	4,134,000	0
計	20,770,000	100,000	20,670,000	0

## (2) 支出の部

(単位:円)

経 費 区 分	本年度予算額 (本年度精算額)	前年度予算額 (本年度予算額)	比較増減	
			増	減
文化振興事業	0	0	0	0
地域・産業振興事業	20,770,000	100,000	20,670,000	0
コミュニティ活動支援事業	0	0	0	0
ア 工事費	(0)	(0)	(0)	(0)
ウ 測量設計費	(0)	(0)	(0)	(0)
合 計	20,770,000	100,000	20,670,000	0